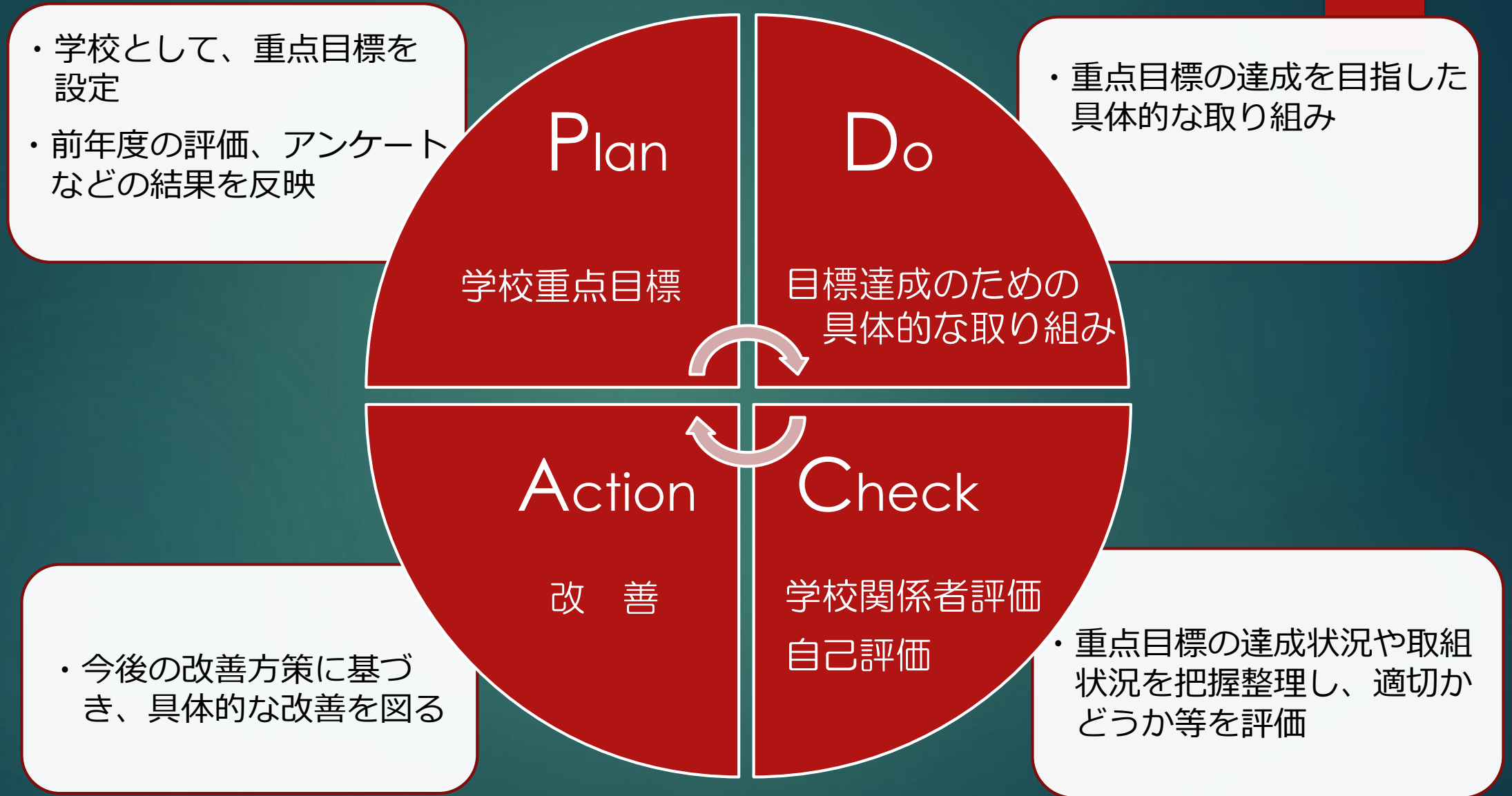




学校評価集計結果 について

令和3年（2021年）2月5日 学校運営協議会

学校評価の実施について <改善サイクル>



<今年度の学校評価の流れ>

●学校評価アンケート

- 1 1月30日～ 職員配布
- 1 2月 4日～ 保護者配布
- 1 2月14日 締め切り

集 計

- 1 月 職員会議で集計結果報告
- 2 月 学校運営協議会で報告、意見集約
第三者評価

学校運営協議会
第三者評価

3 月 道教委へ学校評価報告

●年度末反省

- 1 1月～ 各学部、校務分掌、委員会等で反省

1 2月
1 月 職員会議で報告

2月～各学部、校務分掌、委員会
で課題解決と、次年度の方向性を検討

2月職員会議で方向性を確認

回答、報告

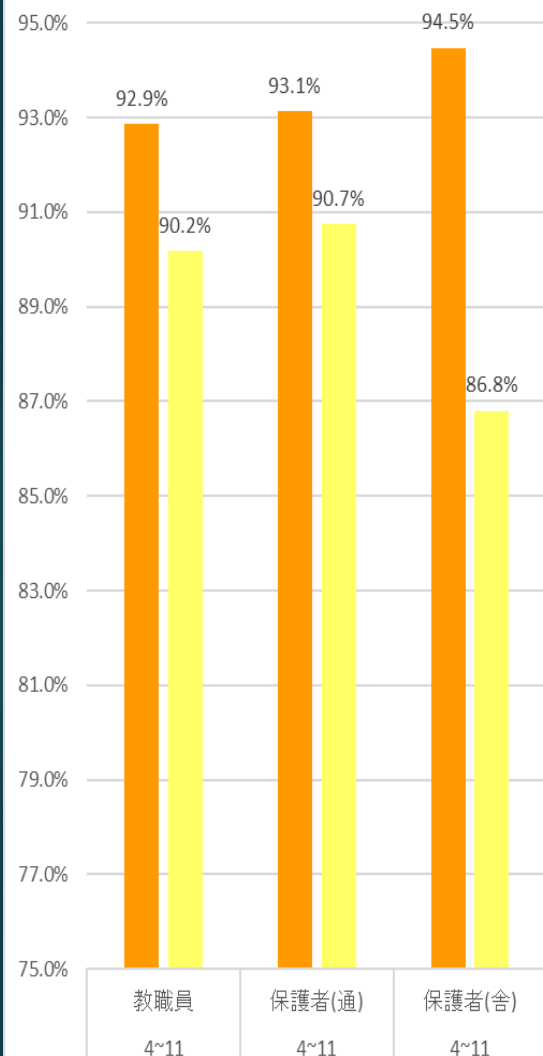
3 月 職員会議で新年度計画提案

次年度の学校評価について（検討事項）

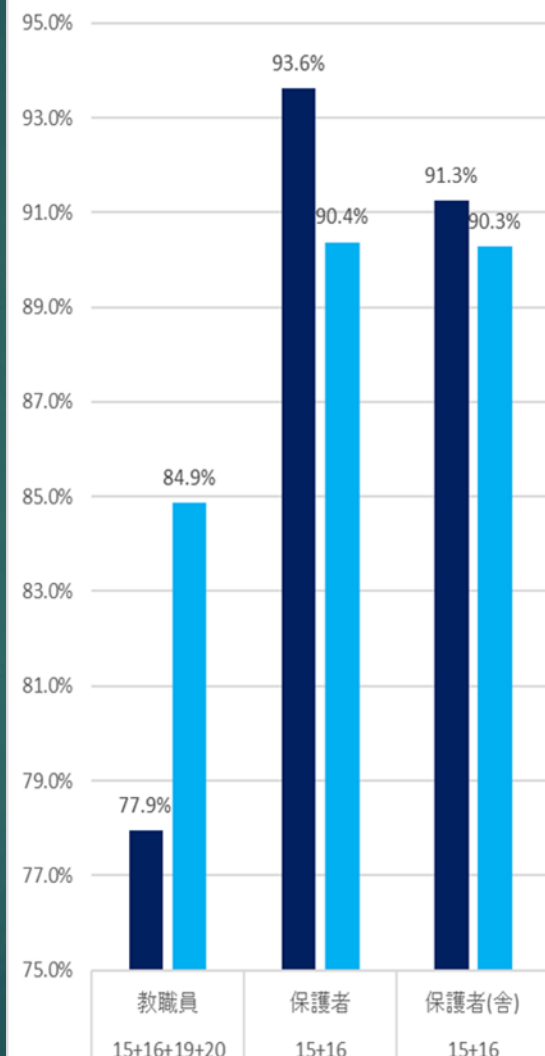
- 評価アンケートの項目見直し
- 学校評価と、年度末反省の一元化

視点別満足率（右側～今年度、左側～昨年度の結果）

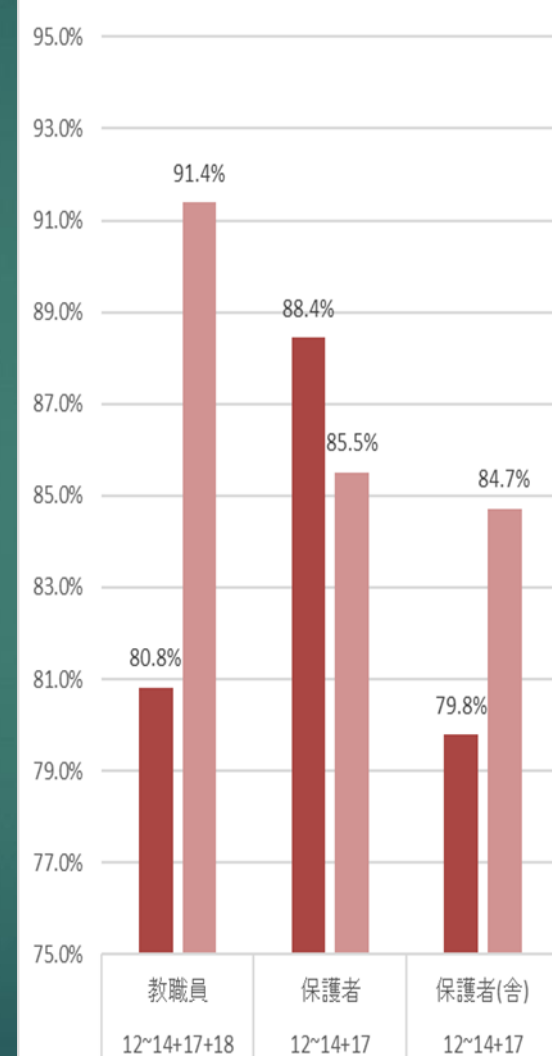
教育活動／生徒指導



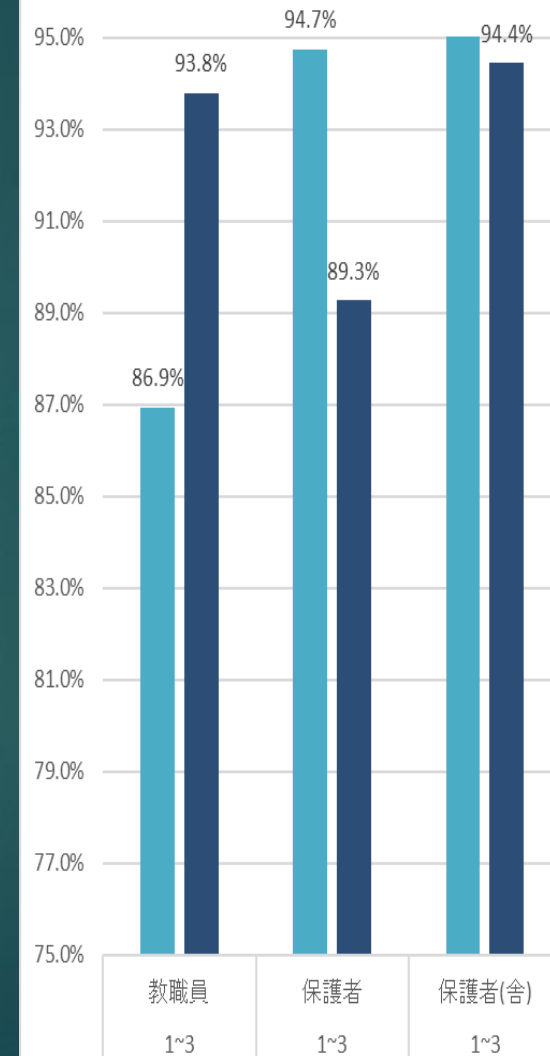
組織的・計画的運営

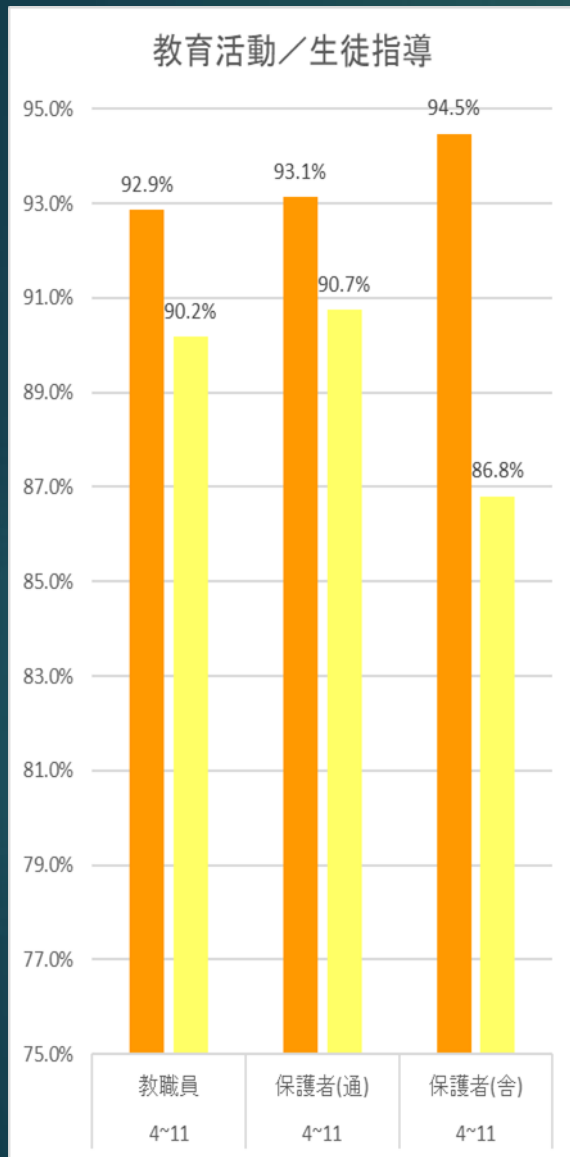


開かれた学校



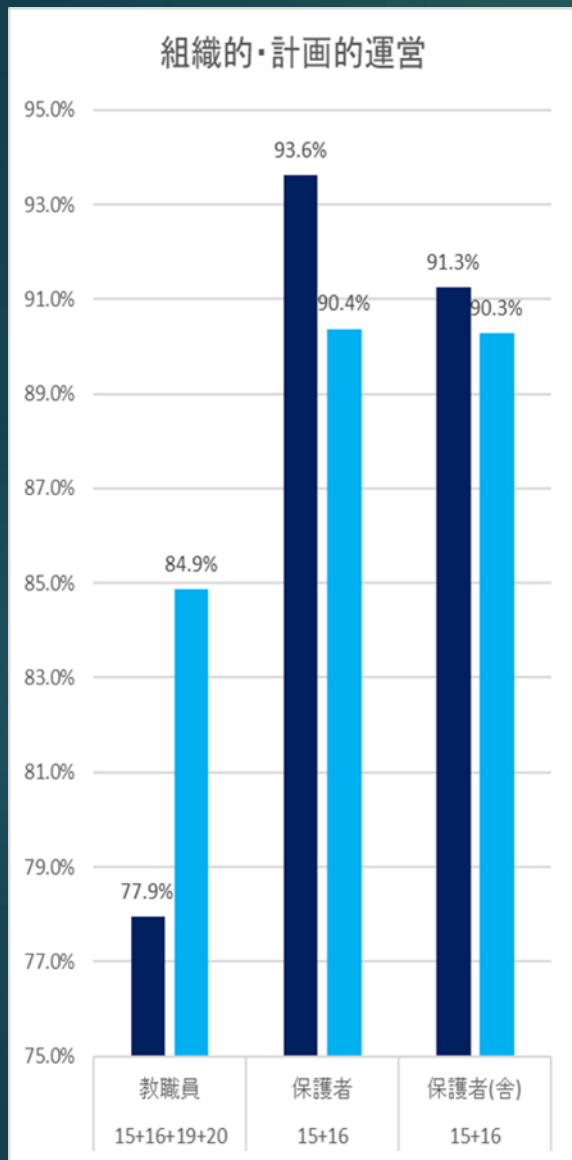
安心・安全





自由記述より

「実態把握、発達や特性の理解を適切に行った上での学習内容や指導について、専門性を深めていくことが必要だと感じている。」といった内容の記述が多かった。



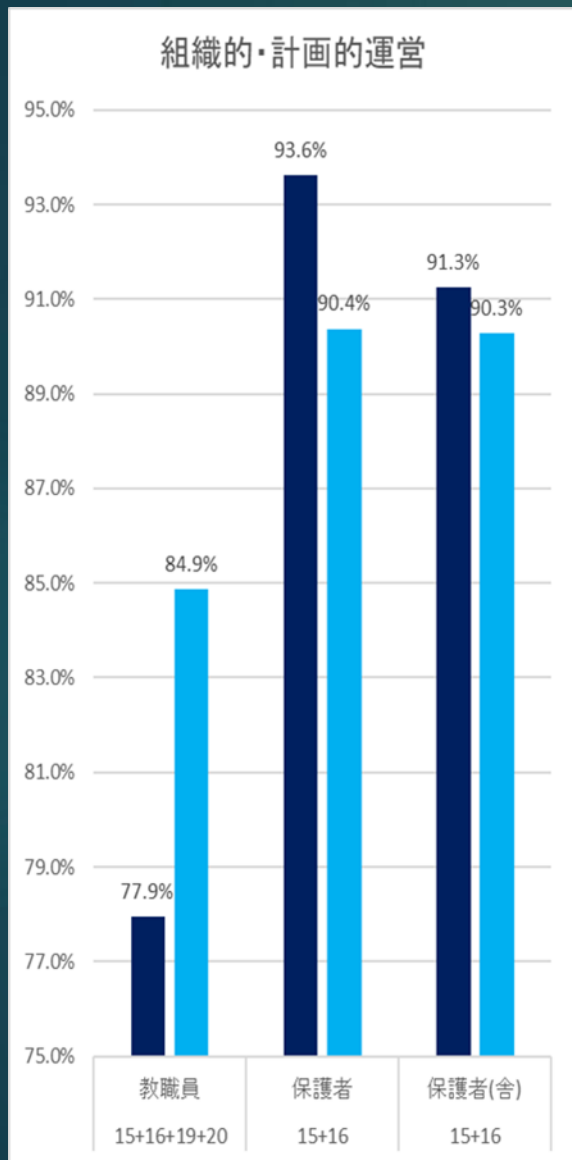
15

教職員が互いに協力し合って、日々の教育活動の推進に当たっている。



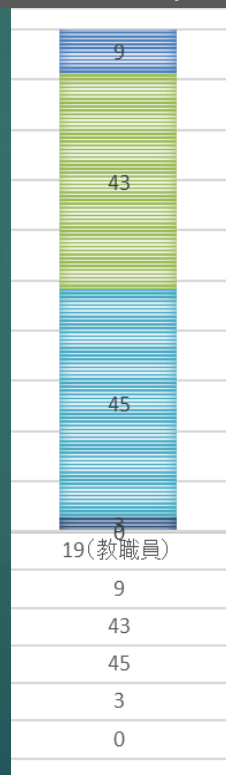
自由記述より

個での仕事になりがち、小さな単位（学級や学年）では、協力し合っている部分もあるが、大きな単位では難しいという意見も出ていた。



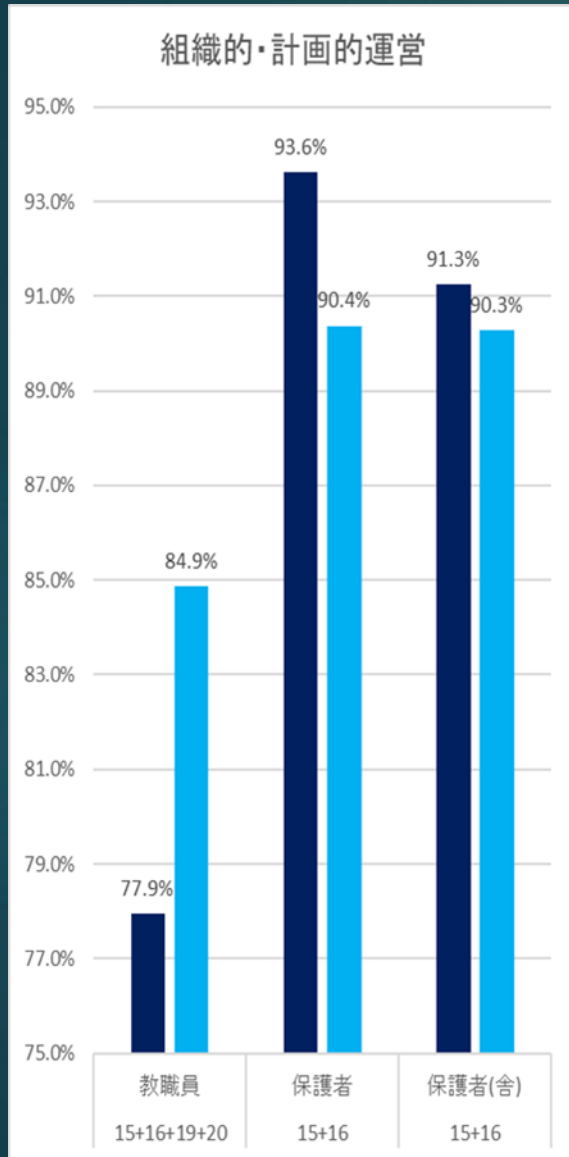
16

それぞれの専門性を高めるための研修を行い、満足できる状態である

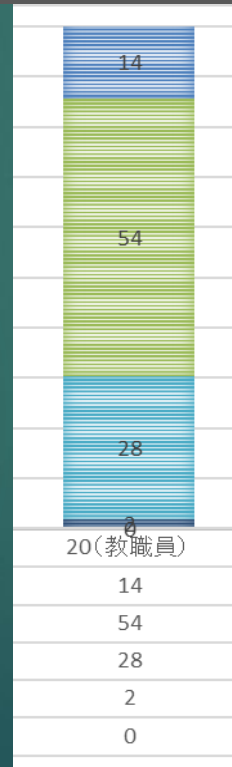


自由記述より

研修に行きたくても行けないと言う記述が多かった。行けない理由としては、コロナ渦で機会が無かった、体制的に行きづらい等

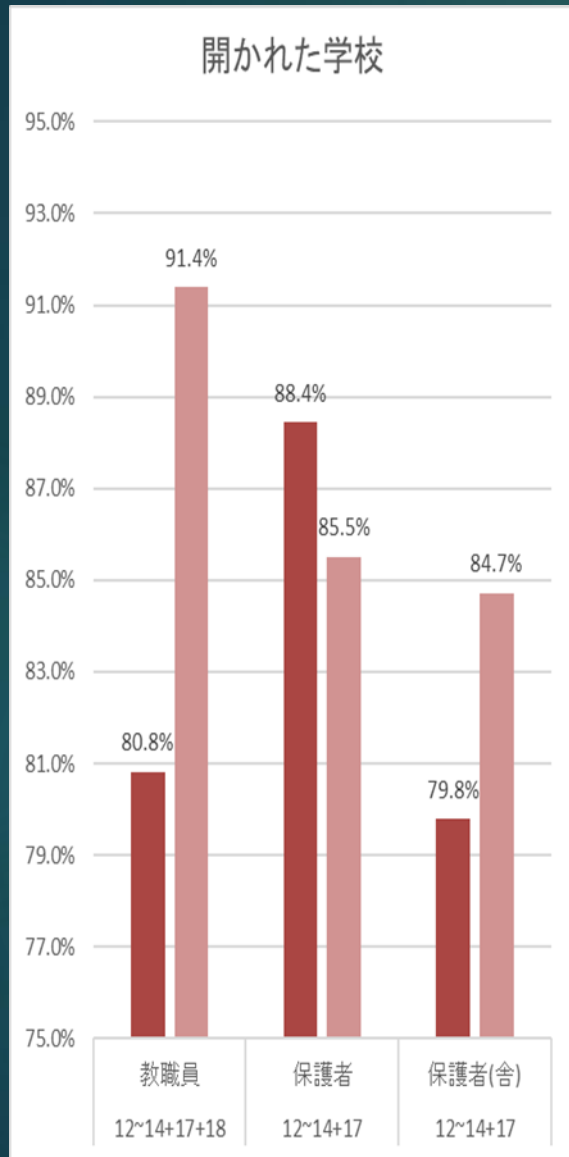


学校組織は、学校課題への対応や、効果的・効率的な運営に、適した組織となっている。



自由記述より

評価は低めですが、自由記述では、コロナ渦で感染防止対策をしながら、みんなで協力して行事を開催出来たことなど、良かったことが何件か書かれていた。ただ、日頃からこのようにみんなで協力し合っていけたらよいといった意見もいくつか出されていた。

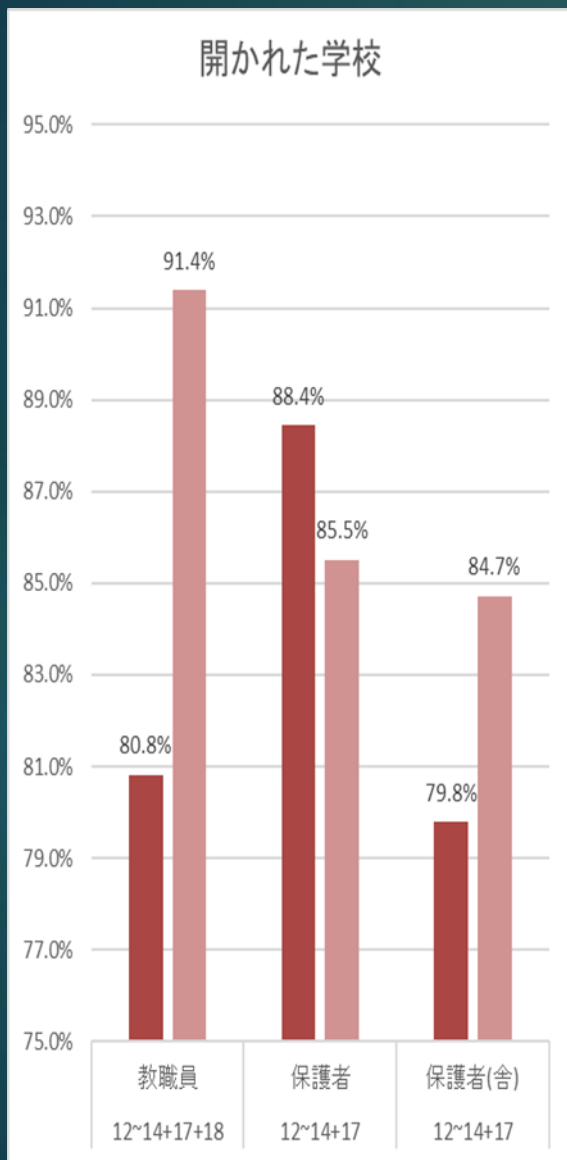


授業参観や学校公開等を通して、児童生徒の学習の様子や学校の取組を、保護者や地域に積極的に伝えている。



自由記述より

コロナ渦で今までの取組（参観日や学校公開など）が出来なかったという意見が多くあげられていた。zoom等、オンラインでの実施など、この状況下で出来ることを考えていく必要があるといった意見も出されていた。



17

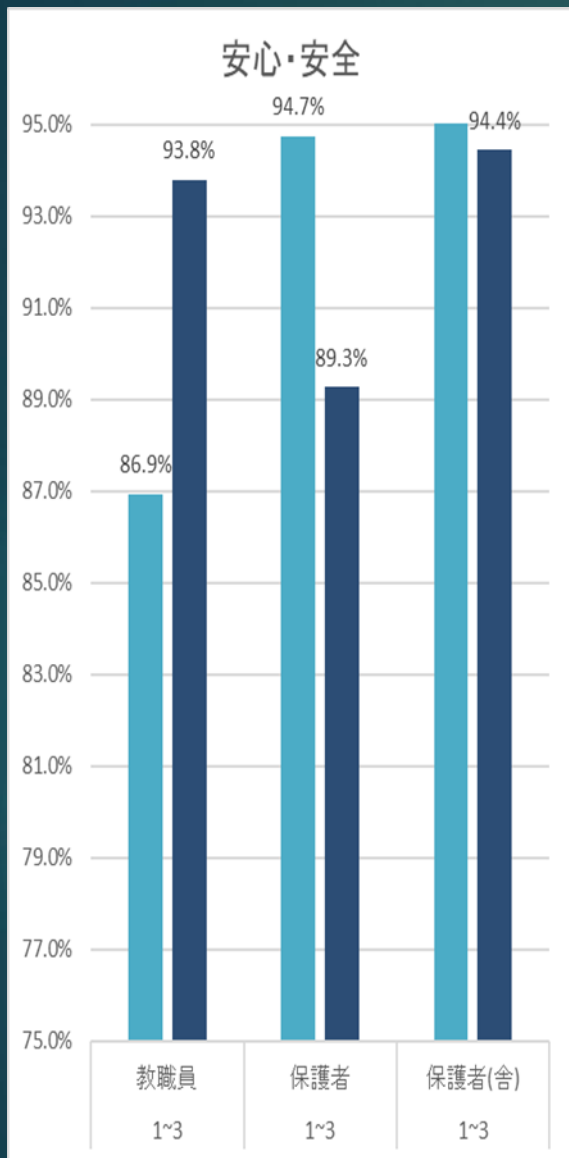
教育公務員としての
服務適正を期し、説
明責任を果たし、保
護者や地域から信頼
を得ている。



自由記述より

不祥事があったことが、大きく影響していて、このことに関連した内容が多かった。

それぞれが、信頼回復に努めていても、不祥事がおこると信頼が失墜してしまう、信頼が回復できているのかわからないといった意見が多かった。



自由記述より

学校と寄宿舍の連携について、
コロナ渦での感染防止対策の徹底
と学習活動の工夫についてなどの
記述があったが、記述自体が少な
かった。